

地域別会員懇話会(湖北・湖東地区)



新技術・新工法展示商談会 in 兵神装備(株)



特集

地域別会員懇話会(湖北・湖東地区)開催

～浅見宣義長浜市長と滋賀県、滋賀県労働局、米原市・彦根市の意見交換～

大阪・関西万博レポート「滋賀県デイ開催」	P2
立命館大学びわこ・くさつキャンパスに 「グラスルーツイノベーションセンター(GIC)」が誕生！	P2
経団連 筒井新会長が就任、5つの重点政策	P3
新技術・新工法展示商談会 in 兵神装備株式会社	P4
価格交渉促進月間・障害者雇用支援月間	P5
近江の企業クローズアップ「山科精器株式会社」	P6
経済指標・事務局だより	P7



地域別会員懇話会(湖北・湖東地区)開催

～浅見宣義長浜市長と滋賀県、滋賀県労働局、米原市・彦根市の意見交換～

7月23日、今年度第1回目となる地域別会員懇話会(湖北・湖東地区(長浜市 米原市 彦根市 多賀町 甲良町 豊郷町 愛荘町))を開催した。

第1部各機関からの情報提供では、下記の5機関から説明があった。

1. 滋賀県(高専開設準備局、商工観光労働部)

- (1)2028年滋賀県立高専開校に向けた準備状況
- (2)2026年秋オープン 新東北部工業技術センターの概要
- (3)若年層等確保・定着支援補助金のご案内

2. 滋賀県教育委員会高校教育課

- (1)令和7年3月高等学校等卒業生就職決定状況調査

3. 滋賀労働局 雇用環境・均等室

- (1)賃金引き上げの支援策(業務改善助成金、キャリアアップ助成金など)
- (2)ハラスメント対策・女性活躍推進に関する改正のポイント
- (3)労働安全衛生法及び作業環境測定法改正の主なポイント

4. 米原市シティーセールス課

- (1)スマートインターチェンジ直結・複合型エネルギーオアシスの立地構想について

5. 彦根市地域経済振興課

- (1)彦根市企業立地促進条例に基づく助成金について

説明に対しての質疑

(1)県立高専の設置に加え、実業高校や普通科高校の魅力を高め、多様な進路選択肢を提示することで、産業界が必要とする人材育成につなげてほしい。

(回答)滋賀の県立高等学校魅力化プラン(令和5年3月策定)に基づき、各校が特色を打ち出し、生徒に選ばれる学校づくりを進めている。

(2)東北部工業技術センターについて、施設のハード面だけでなく、企業との連携を深めるためのソフト面の強化、特に地域企業への周知と利用促進が重要

(回答)移転を機に企業や大学との連携を強化し、見学会などを通じてセンターの役割や機能を広く周知していく。

(3)経営者からも要望が多い熱中症対策に関して支援策があれば教えてほしい

(回答)現時点で直接的な支援策と認識している。意見として持ち帰る。



第2部は浅見宣義長浜市長をお招きし意見交換を行った。市長からご挨拶を頂いた後、長浜市の産業施策について下記の通り説明があり、その後、意見交換が行われた。

1. 産業用地確保

- (1)企業の進出・事業拡大による経済活性化と魅力的で多様な雇用の創出
- (2)居住機能と都市機能、就労場所が近接する一体的なまちづくりを進める

2. 雇用確保に向けた取組

- (1)新卒採用促進・人材定着事業(湖北地域雇用対策協議会事業)
- (2)地域雇用活性化推進事業(厚生労働省委託事業)
- (3)長浜ものづくりTECH(地域経済団体による取組)

3. 南長浜のまちづくり

- (1)南長浜まちづくりビジョン for 2050(令和7年3月策定)
- (2)同ビジョンに賛同し、協賛する企業・団体等とパートナーシップを結び、「共」に未来を「創」る体制づくりを推進(南ながはま共創パートナー企業)
- (3)長浜バイオ大学について、今後のまちづくりに重要な高等教育機関であり理系人材の育成だけでなく地域全体への知的貢献や企業連携に広く寄与。「産学連携人材育成コンソーシアム」が設立され、長浜市も構成メンバーとして参画

4. 北近江豊臣博覧会の開催

- (1)2026年放送の大河ドラマ「豊臣兄弟!」を活用した誘客を目指し、「絆で繋ぐ次世代を見据えた北近江の創造」をテーマに北近江豊臣博覧会(2026年2月1日～12月20日)を開催。
- (2)開催場所 市内3会場(長浜城下町エリア、小谷城下町エリア、賤ヶ岳合戦エリア)

意見交換での主な発言内容と回答

(1)高齢者・女性の活躍推進について、少子高齢化が進む中、定年を迎えても元気な高齢者(特に男性)や、優秀な女性が活躍できる社会への転換について、市

の考えや取り組みを教えてください。

(回答)長浜市のシルバー人材センターの登録率は全国でもトップクラスに高く、働く意欲のある高齢者は非常に多い。しかし、提供される仕事が肉体労働中心で、個々のスキルを活かせる仕事が少ないという課題があり、今後は高齢者が持つ多様な技術や経験を活かせるような、より幅広く専門的な仕事の創出を企業と共に考えていきたい

(2)スタートアップ支援について、今後の日本経済の成長には、若者によるスタートアップやチャレンジが不可欠であるとして、長浜市として若者のスタートアップを支援するための具体的な取り組みについて教えてください。

(回答)女性のスタートアップが男性よりも多い印象が

ある。商工会議所や商工会と連携し「創業塾」などを開催し、創業のノウハウ提供から創業後の伴走支援まで行っている。また、スタートアップ時の借入に対する保証制度なども設けて支援している。DXを支援する優秀なスタートアップ企業もあるが、まだ十分に知られていないため、地域にある企業同士とのマッチングも進めていきたい。

(3)長浜市は「住みやすい街」として全国的に評価されている。他の地域との差別化を図り、「長浜市でスタートアップする魅力」を明確に打ち出してほしい。また、高齢者の活躍については、県立大学のリカレント教育なども含めた広いネットワークでの取り組みに期待する。

(回答)期待に応えられるよう検討していきたい。

大阪・関西万博レポート

滋賀県デイ開催!!

7月24日、大阪・関西万博会場内のEXPOホール(シャインハット)で「びわ湖サマークルーズ」をテーマに滋賀県デイが開催された。

来場者には、県内全ての小学5年生が湖上をめぐり、環境について学ぶ学習船「うみのこ」を疑似体験いただきながら、滋賀県内をめぐり、ステージ上で繰り広げられる、「びわ湖ホール声楽アンサンブルによる琵琶湖周航の歌」や「伝教大師最澄1200年魅力交流委員会による“不滅の法灯”奉安と天台声明の調べ」、 「滋賀県人によるトークステージ」、 「県民団体ステージ」などのパフォーマンスを通じて、滋賀の魅力を経験していただきました。



立命館大学びわこ・くさつキャンパスに「グラスルーツイノベーションセンター(GIC)」が誕生!

～「共創」で新たな価値を創造する拠点～

2025年7月28日、立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)に、学生・研究者・企業・地域が連携し、社会課題解決とイノベーション人材育成を推進する新拠点「グラスルーツイノベーションセンター(GIC)」が開設されました。

GICは、分野や所属を超えたオープンイノベーションを通じて、社会課題解決や事業化を支援し、新たな価値を創造することを目指します。共同研究や新技術開発、新規事業創出の加速に活用できるこの最新鋭の施設は、同施設内の「先端クロスパースイノベーションコモンズ(CVIC)」と連携し、研究・教育の高度化と社会共生価値の創出を目指します。

滋賀経済産業協会では、このGICも含む立命館大学の見学会を10月7日に実施いたします。この機会にぜひご参加ください。



立命館大学
グラスルーツイノベーションセンター
公式サイト
<https://gic.ritsumei.ac.jp/>



経団連 筒井新会長(日本生命保険 取締役)が就任 5つの重点政策で「FUTURE DESIGN 2040」推進へ



この度、経団連会長に就任いたしました筒井義信です。

さて、世界は近年ない程の危機に直面しています。戦後営々と築かれてきた国際秩序は、米中対立の激化や、ロシアによるウクライナ侵略等により、大きく揺らいでいます。こうした中、米国が打ち出している関税政策は、各国の繁栄の礎となってきた自由貿易体制に深刻な影響を及ぼしかねません。また、地球環境問題への対応も待ったなしの状況です。わが国では、少子高齢化・人口減少、資源・エネルギー制約をはじめとする構造的かつ複雑な課題が山積しています。

こうした混迷の時代にあって、数々の難題に真正面から立ち向かい、打開策を見出すことこそ、経団連に課せられた使命です。そこで、経団連は昨年12月、「FUTURE DESIGN 2040」を公表し、2040年を展望して、わが国の未来社会の姿とそれを実現するための政策を提言いたしました。

本年度は、同ビジョンの実現に向けた初年度です。経団連は、「FUTURE DESIGN 2040」のロードマップを描き、「科学技術立国」と「貿易・投資立国」による成長、「公正・公平で持続可能な社会」の構築に向けて全力で取り組んでまいります。現下の危機に対して迅速に対応するとともに、中長期の観点から、各種施策の優先順位を整理し、「成長と分配の好循環」を着実に実現してまいります。

具体的には、次の五つの政策分野に取り組んでまいります。

第一は、イノベーションです。デジタルトランスフォーメーション、グリーントランスフォーメーション、スタートアップ振興等、成長のカギを握る施策について継続して取り組みます。また、「科学技術立国戦略特別委員会」を新設し、わが国が目指すべき科学技術立国への道筋を描くとともに、これを支える教育から基礎研究、応用研究、社会実装、産業競争力強化を一気通貫で深掘りし、戦略を取りまとめます。

第二は、税・財政・社会保障の一体改革です。社会保障制度の持続可能性の確保のため、わが国の財政健

全化の視点も重視しつつ、給付と負担、とりわけ負担のあり方に関する税を含む一体的な改革の実現を強く求めてまいります。

第三は、地方創生です。全国を8程度の広域ブロックに分け、経済発展に向けた各地域のビジョン策定の推進を通じ、現行の地方自治体の垣根を越えるより広い圏域での広域連携、「新たな道州圏域構想」の実現を目指します。

第四は、生産性向上に向けた労働改革です。「物価上昇に負けない賃金引上げ」を持続可能とするためには、企業の生産性の改善・向上が重要です。その実現には、円滑な労働移動の推進や、裁量労働制等の労働法制の抜本的な見直しが不可欠です。

第五は、経済外交です。わが国が「貿易・投資立国」を実現する上で、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化が不可欠です。こうした観点から、同志国と連携して、ルール形成等において一層のリーダーシップを発揮することを政府に求めてまいります。併せて、「グローバルサウス委員会」を新設し、成長著しいグローバルサウス諸国との連携強化に取り組むとともに、わが国の有するソフトパワーも活用して民間経済外交を積極的に展開いたします。

そして、これら五つの取り組みを進めるにあたっては、安価で安定的なエネルギー供給の確保が欠かせません。「第7次エネルギー基本計画」の具体化と着実な実現を図ってまいります。

このような時代だからこそ、企業がフロントランナーとしてわが国の進むべき道を示し、強い覚悟をもって未来を切り拓いていくことが不可欠です。私は、常に世界の動きを見据え、「中長期の視点」と「日本全体の視点」の双方を大切にしつつ、将来世代への責任を果たす経団連を目指してまいります。

一般社団法人 日本経済団体連合会
会長 筒井 義信

2025年度事業方針はこちら
<https://www.keidanren.or.jp/policy/2025/027.html>



令和7年度 しがモノづくり技術プロモーション事業

滋賀県新技術・新工法展示商談会in兵神装備株式会社 ～滋賀県企業の技術を提案～

昨年度より、県内中小製造業が持つ優れた技術を、これまで取引のなかった大手・中堅企業(主に県外)へ、直接かつ具体的に提案する取組みをスタートしました。本年度の第1回目を7月29日(火)に長浜市にある兵神装備株式会社滋賀事業所にて展示商談会を開催しましたので報告します。

《商談会風景》 兵神装備株式会社及びお取引関連会社から140名様が来場～



出展企業：11社



兵神装備株式会社の上席常務執行役員の中川丈司様からご挨拶をいただき、展示商談会をスタートしました。



開催スタートから最後まで切れ目なく来場多数で大盛況各ブース共、熱心な商談が展開されました。



展示商談会に合わせて出展企業からプレゼンの場を設定し、より深みのある技術提案をおこないました。

来場者アンケートでは良好な評価をいただき、今後の商談成立が期待されます

～兵神装備株式会社 × 滋賀県企業 ～ 共創・協働による新たなビジネスの可能性～

今回の「兵神装備株式会社様との展示商談会」では、滋賀県内企業11社が出展し、来場者は140名にのぼる盛況ぶりとなりました。来場者のうち、研究・開発・設計部門に所属する方が25%以上を占め、新たな技術を取り入れ、自社製品や新規事業に展開したいという意欲が強く感じられました。また、アンケートでは「課題解決のヒントを得るために参加した」との声も多く、本商談会が“共創・協働”をキーワードとする事業目的に沿った場として機能したことがうかがえます。さらに、出展企業アンケートでは「試作依頼2件」「見積・図面検討13件」「後日訪問予定26件」など、今後のビジネスマッチングにつながる具体的な成果が多数報告されました。なお、本展示商談会は、今後も今年度、あと2回の開催を予定しておりますので、次回以降の参加についても、ぜひご検討をお願いいたします。

(今回出展頂いた企業11社)

株式会社ISS山崎機械
株式会社 大橋鉄工
オプテックス・エフエー株式会社
神港精機株式会社
新江州株式会社
株式会社シンコーメタリコン
スターライト工業株式会社
高橋金属株式会社
株式会社たけびし 滋賀支店
日新産業株式会社
株式会社リネックス

10月開催の
商談会
募集案内



次回は10月17日に近畿圏の大手・中堅企業9社と商談会を予定しており、現在県HPから参加企業を募集中です。奮って応募ください。
事業推進事務局：滋賀経済産業協会 山口 s-yamaguchi@s-keisankyo.or.jp TEL：077-526-3575

9月は“価格交渉促進月間”“障害者雇用支援月間”です

価格交渉促進月間とは

昨今のエネルギー価格や原材料費、労務費などが上昇するなか、中小企業が適切に価格転嫁をしやすい環境を作るため、中小企業庁では2021年から9月と3月を「価格交渉促進月間」として、価格交渉・価格転嫁の促進に取り組んでいます。

2025年3月の促進月間のフォローアップ調査結果によれば、「価格交渉が行われた」割合は89.2%、価格転嫁についてはコスト増加分が「全額転嫁できた」が25.7%、「一部転嫁できた」が57.4%、計83.1%となっており、価格交渉・価格転嫁ともできている割合が向上してきています(価格交渉・価格転嫁は不要の回答を除く)。

他方、「全く転嫁できず」あるいは「減額された」の割合が16.9%あります。

調査結果の詳細：

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/follow-up/index.html>



サプライチェーン全体の共存共栄のため、価格以外の取引条件も含めて適正なものとなるよう、受注側・発注側とも丁寧なコミュニケーションが望まれます。



受注側企業では自社の商品・取引先ごとの収支状況やコスト構造の変化を可視化し、価格転嫁の目安や商品戦略、事業戦略等につき十分検討することも有用です。支援ツールが中小企業庁等のウェブサイトで公開されていますので、ご活用ください。

支援ツール、相談窓口等 ウェブサイト：

https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/shien_tool.html



また、B to Bの中小、小規模事業者等向けに「価格転嫁対策セミナー」(滋賀県商工会連合会主催)が開催予定ですので、ご活用ください。

<https://www.shigasci.net/topics/2436.html>



障害者雇用支援月間にあたって

広く国民に障害者雇用の機運を醸成するとともに、障害者の職業的自立を支援するため、9月を「障害者雇用支援月間」として厚生労働省、自治体、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構を始めとする関係機関が協力して、様々な啓発活動を行っています。ご存知のとおり障害者雇用促進法の障害者雇用率が引き上げられています(下表)。

	2024年4月～	2026年7月～
民間企業	2.5%	2.7%
特殊法人等	2.8%	3.0%

滋賀県の民間企業の障害者雇用状況(2024年6月)は、実雇用率が2.66%で過去最高、法定雇用率達成企業の割合は54.1%で、いずれも全国平均を上回っています。とはいえ、これから来年7月の法定雇用率の引き上げを見据え、また、何より障害者の能力発揮と自立・社会参加をさらに進めるため、活躍できる機会を提供し、雇用後も障害者が安心して働き続けられるよう職場環境の整備や支援をしていくことが必要です。

しかし、各企業が取り組むなかで現実には多くの困難や悩みがあると思われます。滋賀経産協では、障害者雇用促進セミナーを9月2日、米原で開催する予定です。他社の取り組み事例や支援機関との連携等の情報を得るとともに、他社と交流する機会になりますので、別添のチラシをご参照いただき、ぜひご参加ください。

経産協ウェブサイト：

<https://www.s-keisankyo.or.jp/seminar/r7>



なお、行政等による各種の支援策も拡充されてきていますので、参考になるサイトを2つご紹介します。

◆障害者雇用に関する相談援助(原則無料)

<https://www.mhlw.go.jp/content/001245754.pdf>



◆障害者雇用関係の助成

<https://www.jeed.go.jp/disability/subsidy/index.html>





近江の企業 Check! クローズアップ

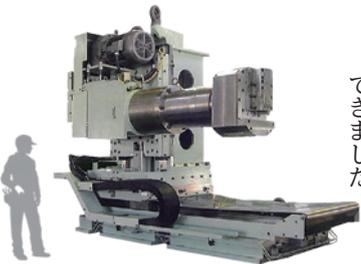
山科精器株式会社

工作機械や熱交換器、注油器などで培ってきた設計力と提案力を活かし、医療分野にも参入。お客さまのモノづくりに、新たな価値をお届けします。



代表取締役社長 大日 陽一郎

ドクター個別のニーズに寄り添い、医療機器を開発・製造。血液を吸引しながら、凝固し止血する医療機器。



重量物の所まで移動させて加工するポータブル工作機械。「工作機械は重くて移動出来ない」という固定観念を覆した、山科精器の自信作です。

進化を続ける原動力
弊社の強みは3つあり、1つ目は「パイオニアスピリッツ」です。先代社長の頃から未知・未踏なものに対して積極果敢に挑戦する創造集団であることを目指してきました。

現場の課題に解を
弊社は、1939年京都の山科でマイクロメーターの製作会社として創業。現在は、製造の現場で活躍する専用工作機械やFA機器、船舶用の熱交換器、医療機器などを開発・製造し、ニッチなモノづくりで多方面から注目を集めています。
人材不足・品質改善・安全性向上・生産性向上などの製造現場の課題に対して、開発・設計から製造まで一貫体制で提供します。

具現化力こそ、モノづくりを未来につなぐ



ミーティングルーム



カフェのような広々空間



フリーアドレスで働く場所の自由度が高い新社屋

社員の幸福感を高めパフォーマンス向上へ
お客様の課題解決に取り組む一方、少子高齢化など日本経済における重要課題に対し、多様な働き方を展開。

2つ目は「技術力」です。業界屈指の規模を誇る40名以上の設計者が在籍。先輩の知見を継承しつつ、新たな知識も積極的に吸収し、切磋琢磨しています。
3つ目は「課題解決力」です。プロフェッショナルチームが豊富な経験と知識をもとに多くの部門と連携。柔軟かつ論理的な思考で課題に応えます。

更なる目標は、地元企業様のお手伝いをさせていただくこと。課題解決につながるオーダーメイドの機械提案はもちろん、製造元への依頼が困難な機械の整備・調整にも力を入れています。



機能性が一目で分かりやすいデザインに刷新したバターカッター

座右の銘は「変革せよ、変革を求められる前に」
創業100年が近づいた今、売上高100億円企業を目標に、これからも新たな挑戦をし、成長し続けたいと思っています。
その一環として、事業連携やブランディング、人材育成、ガバナンス強化にも取り組んでいます。

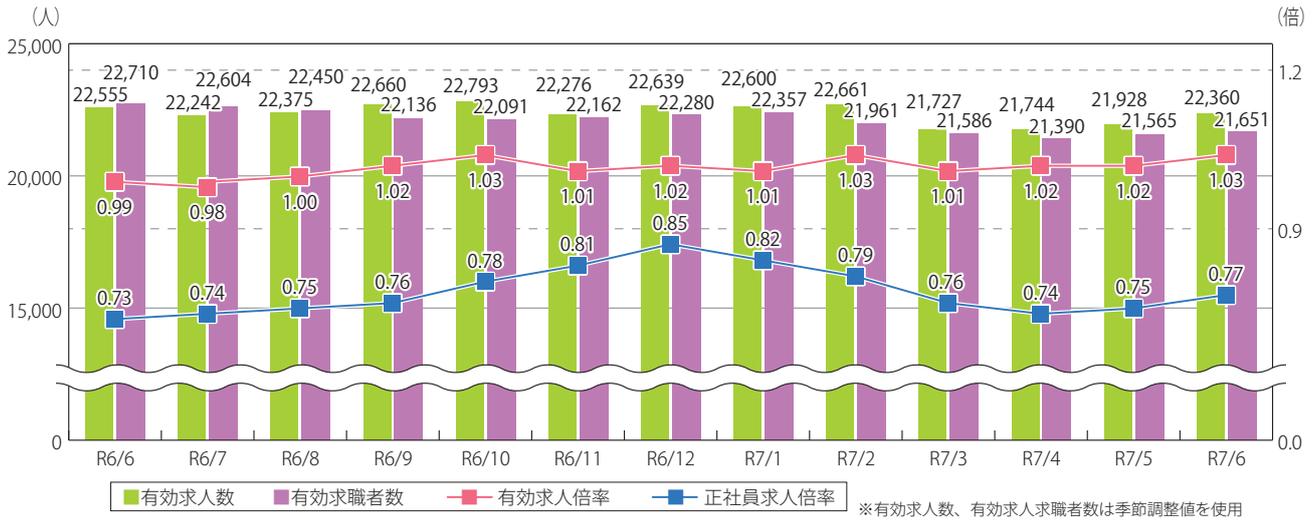
「幸せデザインサーベイ」により、山科精器を誇りに思う社員と組織の幸せを可視化しています。
新社屋では製造業のイメージを覆すような吹き抜けのオープンオフィス、かつフリーアドレススタイルで、新たなイノベーションを生み出し続ける環境を整えています。

Yasec 山科精器株式会社

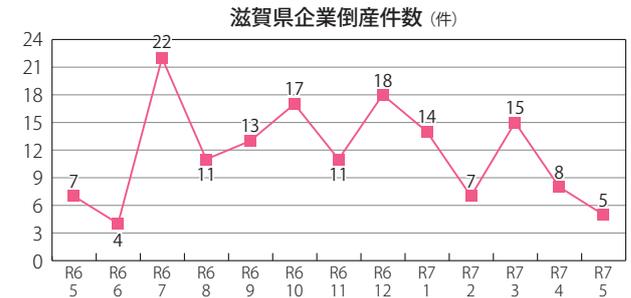
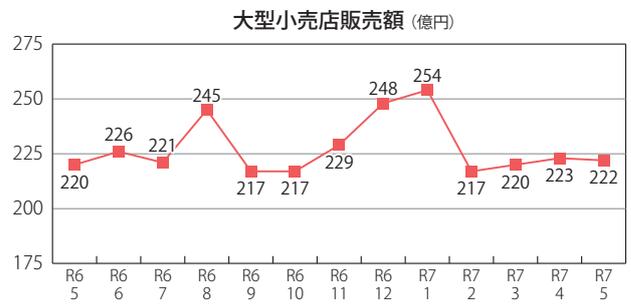
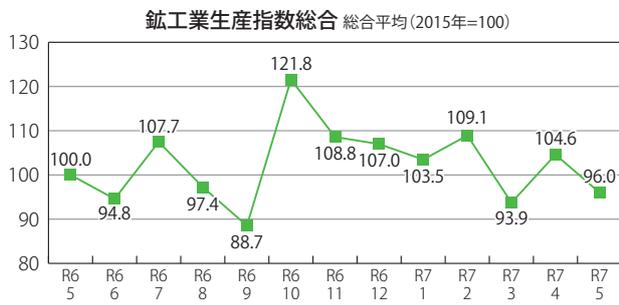
滋賀県栗東市東坂525番地
TEL:077-558-2311
<https://www.yasec.co.jp/>



◆◆求職・倍率状況◆◆



◆◆労働経済指標◆◆



◆◆◆労働実務相談室のご案内◆◆◆

相談内容は秘密厳守し、相談料は**無料**です。お気軽にご相談下さい。

- 相談日：毎月1回(原則第4水曜日(14:00~16:00) 祝日の場合は木曜日)
- 弁護士：アクシス法律事務所 置田 文夫 氏
- 会場：滋賀経済産業協会内 <コラボしが21 5階>

※相談予約は、必ず2日前に事務局までお申込下さい。(TEL: 077-526-3575)



事務局だより <9月の主な行事予定>

会議名	開催日	会議名	開催日
障がい者雇用促進セミナー(米原市役所)	9月2日(火)	現場見学研究会 扶桑工業(株)	9月18日(木)
高等学校就職問題検討会議	9月3日(水)	滋賀県緑化推進会 理事会	
品質保証研究会	9月4日(木)	人活×人事・労務研究会	9月19日(金)
未来のチャレンジャー育成研究会	9月5日(金)	第2回一八会(ジャパンエースゴルフ倶楽部)	9月24日(水)
第2回労務研究会	9月9日(火)	あさって塾	9月25日(木)
欲しい人材に届くSNS活用セミナー	9月10日(水)	わたSHIGA輝く国スポ・総合開会式	9月28日(日)
京都橘大学見学会	9月11日(木)	中小企業モノづくり部会	9月29日(月)
IoTの基礎を学ぶ研究会	9月12日(金)	共創型リーダー育成研究会	9月30日(火)



- 用紙: 琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー
- インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷